

ふ  
つ  
と  
の



町花：山百合

# 議会だより

9月定例会 No.133  
平成27年10月20日

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 平成26年度会計の決算認定 .....       | 3 |
| 町税等の滞納額と町の貯金・借金 .....     | 5 |
| 町長・副町長の給与削減条例を可決 .....    | 6 |
| 一般質問 主要政策について4議員が8問 ..... | 9 |



こども園運動会

# 58億2千万円を認定



9月定例会は、9月11日から17日までの7日間の会期で行われました。

町長から提出された議案は全17件で、受理した請願は1件でした。主な議案は平成26年度一般会計などの決算認定、普通交付税の増加などによる基金積み立てを含む27年度一般会計補正予算、職員の不祥事による町長・副町長の給与削減条例のほか、議員による発議案3件などでした。

すべての議案は、原案のとおり可決されました。

一般質問には4人の議員が町民第一体育館の改築状況や周辺エリア整備の考え方などについて、8問に論戦を展開しました。

## 決算の意義

議会が決めた予算が適正に執行されたかを審査するとともに、行政効果を住民に代わって評価するもの。

さらに審査結果を予算の審議に役立てるためにも重要なものである。

議員必携より

## 決算審査意見

国も厳しい財政事情にあるが長期的な財政計画と町民の生活・福祉の向上を図らねばならない。

代表監査委員 薄 井 憲 一

監査委員 佐 藤 弘 信

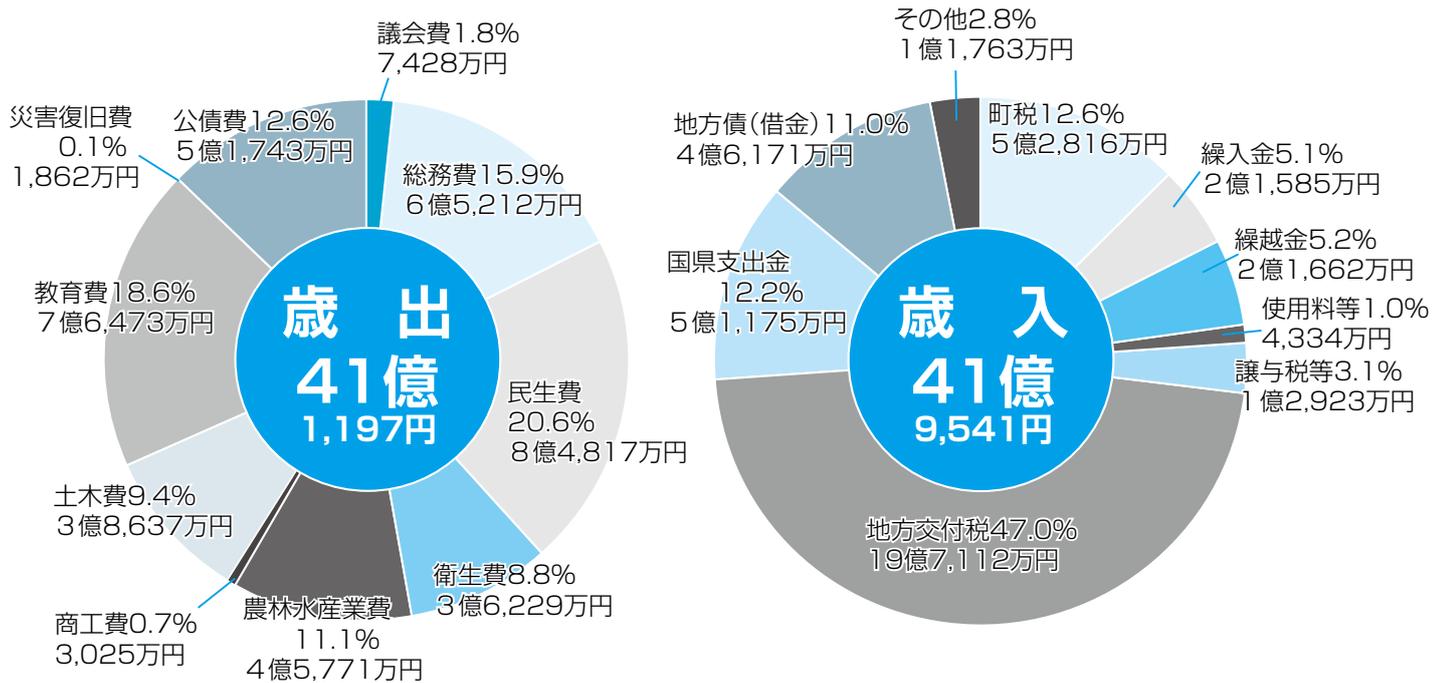
平成26年度決算は、一般会計・特別会計ともに黒字決算となり、各会計とも予算の執行及び事務処理は適正・的確なものと認められた。また、基金も2億7千万円が積み増しされ総額が37億7千万円余りとなった。

近年、大雨による土砂災害等が多発するなか防災計画の的確な運用と災害に強い町づくりが求められている。

国の厳しい財政事情により交付金・補助金等の削減も考えられるなか、町民第一体育館の改築など多くの費用が見込まれるが、将来を展望した計画的な行財政運営に努め、更なる町民の生活・福祉の向上を図りたい。

# 26年度決算総額

## 一般会計の歳入歳出の性質別割合は！



## 各会計の決算状況と採決結果

(1万円未満切り捨て)

| 会計区分 | 歳入決算額      | 歳出決算額      | 収入未済額<br>(滞納額) | 採決の結果     |           |
|------|------------|------------|----------------|-----------|-----------|
| 一般会計 | 41億9,541万円 | 41億1,197万円 | 3,713万円        | 認定 (10対1) |           |
| 特別会計 | 国民健康保険     | 6億8,581万円  | 6億1,982万円      | 5,326万円   | 認定 (10対1) |
|      | 簡易水道       | 1億3,476万円  | 1億3,118万円      | 181万円     | 認定 (全員賛成) |
|      | 農業集落排水事業   | 7,596万円    | 7,326万円        | 294万円     | 認定 (全員賛成) |
|      | 林業集落排水事業   | 2,360万円    | 2,282万円        | 17万円      | 認定 (全員賛成) |
|      | 介護保険       | 6億4,257万円  | 6億2,669万円      | 209万円     | 認定 (全員賛成) |
|      | 後期高齢者医療    | 5,824万円    | 5,824万円        | 2万円       | 認定 (全員賛成) |
| 合計   | 58億1,638万円 | 56億4,401万円 | 9,742万円        |           |           |
| 前年対比 | 84.4%      | 85.5%      | 102.9%         |           |           |

# 計議 会審 年度 認定 算 26 決

議案  
審議

## 一般会計決算認定

平成26年度の一般会計決算は歳入41億9541万円、歳出41億1197万円となりました。歳入の中で町税の収入済額は5億2816万円、歳入全体の12.6%、地方交付税は19億7112万円、47%で、それぞれ前年度より減となっています。歳出では民生費がこども園の完成により、前年に比べ8億4952万円減少して8億4817万円となり、歳出全体に占める割合も20.6%となりました。財政調整基金など積立基金は2億7121万円増の37億7208万円となりました。

議案  
審議

## 国民健康保険特別 会計決算認定

歳入は前年度より1809万円減の6億8581万円、保険税は1578万円増の1億6902万円、一般会計からの繰入金は228万円増の9027万円となりましたが、このなかには法定外繰入金3600万円が含まれています。歳出は3326万円減の6億1982万円となり、6598万円が余剰金となりました。保険税の滞納額は202万円増の5326万円となっています。

### 討論

反対

岡部淳一 議員

26年度予算は十分な議論と合意のないまま公民館改修と体育館改築関連費用が当初予算に計上され、予算審議当日になって訂正削除されました。その後も二度にわたり補正予算に計上されましたが否決されています。また消費税増税に伴う公共料金への転嫁は納税義務のない課税は控えるべきと反対しました。雇用に関する対応も十分ではなく反対します。

賛成

佐川勇司 議員

26年度の決算については、予算時に十分な審議のうえ執行され健全な財政運営となっています。人件費など経費の削減にも取り組み生活環境基盤の整備などを積極的に実施しており評価でき賛成します。

採決

賛成 9

反対 1

可決

### 討論

反対

岡部淳一 議員

26年度会計は保険税が8%引き上げとなり、平均的町民収入の2割弱が税金の支払いとなっています。また決算繰越金が6600万円となり8%の引き上げをしなくても対応出来たものと考え反対します。

賛成

佐川勇司 議員

医療費の増加が抑えられたのは検診や健康管理に努力した効果であり、保険税負担軽減のため一般会計からの繰入れを行い収支が黒字となっているので賛成します。

採決

賛成 9

反対 1

可決

(単位)：千円

| 滞納税金及び使用料等      | 滞 納 額  |
|-----------------|--------|
| 町 税             | 30,052 |
| 保 育 料           | 1,571  |
| 福 祉 費 負 担 金     | 215    |
| 児 童 ク ラ ブ 負 担 金 | 81     |
| 給 食 費           | 184    |
| 住 宅 使 用 料       | 4,888  |
| そ の 他 貸 付 料     | 113    |
| 延 滞 金           | 30     |
| 合 計             | 37,134 |

税金使用料の  
滞納額



# わが町の 一般会計分 貯金と借金

## 借金の種類

借入金は元金です。

| 区 分       | 26年度末残高    | 昨年度増減    | 算入率  |
|-----------|------------|----------|------|
| 一般公共事業債   | 5,050万円    | 10,000万円 | 50%  |
| 公営住宅建設債   | 5,610万円    | △1,443万円 | 0%   |
| 災害復旧事業債   | 1,641万円    | △489万円   | ～95% |
| 義務教育整備債   | 1,575万円    | △725万円   | ～70% |
| 一般単独事業債   | 9,448万円    | △3,446万円 | ～50% |
| 過疎対策事業債   | 20億3,018万円 | △3,888万円 | 70%  |
| 辺地対策事業債   | 6億6,924万円  | 8,216万円  | 80%  |
| 財 源 対 策 債 | 1,437万円    | △395万円   | 100% |
| 臨時財政特例債   | 1,168万円    | △390万円   | 100% |
| 減税補てん債    | 2,713万円    | △967万円   | 100% |
| 臨時税収補てん債  | 652万円      | △251万円   | 100% |
| 臨時財政対策債   | 15億1,092万円 | 1,207万円  | 100% |
| 計         | 45億0,328万円 | ▲1,572万円 |      |

## 貯金の種類

積立基金

| 区 分       | 26年度末残高    | 昨年度増減     |
|-----------|------------|-----------|
| 財政調整基金    | 11億6,681万円 | △3,910万円  |
| 減 債 基 金   | 3億0,500万円  | 2万円       |
| 文教厚生施設等基金 | 17億8,870万円 | 3億5,075万円 |
| ふるさと創生基金  | 1億2,115万円  | △2,088万円  |
| さわやか福祉基金  | 1億5,426万円  | 0         |
| 計         | 35億3,592万円 | 2億9,079万円 |

運用基金

| 区 分        | 26年度末残高   | 昨年度増減 |
|------------|-----------|-------|
| 土地開発基金     | 1億円       | 0     |
| 優良雌牛導入事業基金 | 5,500万円   | 0     |
| 奨 学 基 金    | 6,792万円   | 55万円  |
| 計          | 2億2,292万円 | 55万円  |

# 可決した主な条例・予算

## 個人情報保護条例の改正

来年1月から利用がスタートするマイナンバー制度の実施に伴う、個人情報の保護に関する改正です。

今月から全世帯に個人番号が通知され、様々な行政サービスに必要な身分証明として利用できる「個人番号カード」を希望する方は、町に申請すれば交付されます。カードの交付は無料で受け取ることが出来ます。

## 町長・副町長の給与削減条例

原発事故に伴い実施している米の全量・全袋検査の運営事務で職員の不祥事が発生しました。この責任を取るためとして、町長・副町長の給与を10月から3ヶ月間、10%を削減する条例の制定です。

## 過疎自立促進計画の変更

竹貫地内の旧愛宕団地跡地は、宅地分譲を前提とした調査と測量設計が行われていますが、進入路となる町道 竹貫愛宕線を幅員5mに拡幅するための計画変更です。旧Aコープ脇から改良工事を行うもので、測量設計委託料も補正予算に計上されました。

## 一般会計補正予算

今年度分の地方交付税や国県補助金の割当額が確定し、前年度からの決算余剰金も含め予算額を1億3161万9千円増額する補正予算です。

農林土木の工事関係補助金は当初見込みを下回りましたが、地方交付税は1億6227万円の増となりました。

主な歳出予算では農地保全のための多面的機能支払交付金に176万7千円、千年の森育成補助金110万円、農道改良工事に309万円、町道の維持管理に500万円のほか、予算補正に伴う余剰金を財政調整基金に1290万8千円、文教厚生施設整備基金に1億8856万9千円積み立てしました。

今回の積み立てにより財政調整基金で11億7972万円、文教厚生施設整備基金は19億7727万円の残高となりました。

また、小中学校スクールバスの来年度以降の運行に関する契約等の準備を行うため、平成32年度までの5年間で総額3億5千万円を上限とする債務負担行為を設定しました。

### 債務負担行為とは

町の予算は会計年度独立の原則により、単年度会計となっており、数年度に渡る契約支出を行うときは、契約期間と金額の上限を定めた債務負担行為として議会の議決を受けることとなります。ただし支出額は年度ごとに予算化します。

## 請願審査

◎所得税法第56条の廃止を求める意見書提出について

請願者

東石民主商工会  
会長 熊井利治  
婦人部長 鈴木 操

## 全員賛成で採択

## 議員発議

◎会議規則及び傍聴規則の改正

提出者 佐川勇司  
賛成書 矢内泰吉

## 意見書

◎所得税法第56条の廃止を求める意見書

提出者 佐川勇司  
賛成書 矢内泰吉  
外3名

## 全員賛成で可決

# 常任委員会の活動

## 総務常任委員会

今年も実施される米の全量・全袋検査の体制や補助金等の仕組みのほか、流鏝馬保存事業について、各担当課から説明を受け課題等について意見を交わしました。また、付託された請願「所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出について」の審査を行い採択としました。



請願審査と所管事務の聞き取り

## 産業建設常任委員会

解体工事が進められている町民第1体育館と町公民館の改修工事現場を調査し、また刈り取り間近となっている水稻の作柄調査も行いました。

このほかイノシシ被害対策として実施している電気牧柵補助の申請や、原発事故後に行っている農林産物の検査について、昨年度に新たに購入した非破壊式測定器の利用状況の説明を受けました。



上山上地内の水稻の状況を視察調査

# 第4回 臨時会

7.22

第4回臨時会は、7月22日に開催され、町民第1体育館解体工事と町公民館改修工事2件の工事請負契約締結についての議案が提出されました。

審議の結果、体育館解体工事は全会一致で公民館改修工事は賛成多数で可決しました。

## 議案 町民体育館解体工事 請負契約の締結

請負業者 株式会社 トーホフオカベ  
 代表取締役 岡部 稔  
 請負額 8478万円  
 契約の方法 指名競争入札

**Q** 指名業者と落札率は  
**A** (株)三森建設、(株)小浜組(株)トーホフオカベ、(株)佐川建設、(有)かたしき建設(有)古殿工業の6社を指名し、落札率は94・6%です。

**Q** 解体は建築工事なのに、なぜ土木工業者に発注したのか。また鉄骨

し決定しました。

**Q** 指名基準にそって今回も指名したと思うがこれまで5000万円を超える建築工事を町内業者のみの指名競争入札をした事例はあるのか。

**A** 今までの工事ではありませんが、旧小学校の解体工事は町内業者に発注しています。

採決 全員賛成 可決

## 議案 町公民館改修工事 請負契約の締結

請負業者 高田工業株式会社 浅川営業所  
 所長 角田 安男  
 請負額 3億1179万6千円  
 契約の方法 条件付一般競争入札

**Q** 改修計画説明の途中から交流人口を拡大するためとして、宿泊施設が組み込まれ、一昨年の9

**Q** 旧4小学校の解体工事は、工事費が5000万円以下で議会の議決が必要ない工事ではなかった。今回、公民館の改修工事は条件付一般競争入札で行っているが、何が違うのか。

**A** 公民館改修は増築工事で一定の特殊性と工事規模が大きいので条件付一般競争入札としました。

が可決されたが、当初設計のまま入札を実施し、議案審議当日になって変更すると言う町長の執行者としての姿勢に疑問を感じる。

**A** 宿泊スペースについての進め方、考えを示させていたのだと言う認識はあるが、今後は見直しを行きたい。

## 討論

反対 岡部淳一 議員

ホール・図書室の拡充計画が途中から宿泊施設が入ったことで、公民館本来の利用からは使えない施設となってしまう、議論を継続する必要があります。

賛成 佐川勇司 議員

宿泊スペースの件については、議論をしてきており、今後は説明をしながら言うこともあったので、一日も早い改修整備を行い、町民が活用できるようにすることが必要と考え賛成します。

採決 賛成 8 反対 3

可決

| 賛成   | 反対             |
|--|----------------|
| 緑川 鈴木(-)<br>佐藤(弘)<br>佐川<br>矢内<br>青柳<br>関根<br>佐藤(-) | 高木<br>岡部<br>木戸 |

## 一般質問

**佐藤** 新設された施設で1年運営、今年度より新制度「認定こども園」として、半年近くになりま

す。この間、大きなトラブルもなく、順調に運営されていますと聞きますが、制度の変更により、施設利用・規則・送迎の面など保護者からの意見や戸惑い苦情などはないのか伺います。

**認定こども園の運営は**  
**保護者と連携し幼児教育の充実を図ります**  
**町長**

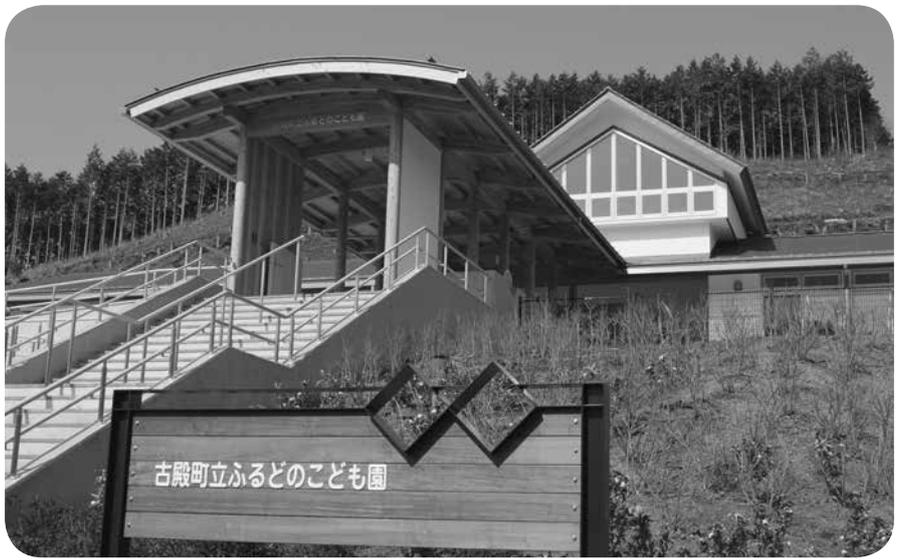


さとう かずお 議員  
**佐藤 一夫**

一般質問は、9月16日に4人の議員が8問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

- 町民の声を伝える
- 町政に生かす
- 町の考えをたずねる

# 一般質問



開園から2年目を迎えたこども園



園外散歩で役場を見学する園児達

**町長** 現時点では特にそのような報告は受けていませんが、運営全般において、保護者との連携を図るとともに、信頼関係を構築しながら、幼児教育の充実を図りたいと考えております。



さかわ ゆうじ 佐川 勇司 議員

## 定住環境の整備は

### 検討を深めます

町長

人口減少が続く中、町内に一人でも多く住んでいただく環境づくりが求められる社会状況にあります。子育て支援も整備されて来たと思いますが、今後は特に住宅環境整備と働く場所・雇用創出が課題です。また、町外からの定住対策と高齢者社会に向けた生活環境整備も急務と思います。

そこで、伺います。

**佐川** 若者定住策の一つとして若者専用住宅（チロリン型）の取り組みが必要と思うが、どうか。

**町長** チロリン横川団地は一般公営住宅でありませんが、若者専用住宅の必要性を含め、検討して参ります。

**佐川** 企業誘致を含め、地域で働ける雇用環境創出の取り組みは。

**町長** 企業誘致活動や、首都圏企業への働きかけを行っています。大変厳しい状況であります。

**佐川** 高齢者世帯生活環境対策として、旧保育所施設の取り組みは急務と思うが、いつ頃か。また、高齢者住宅進入路、冬期

間対応はどうか。

**町長** 高齢者世帯の対策は社会福祉協議会と協議を進めながら検討します。冬期間の高齢者住宅進入路対応は互助・共助での対応をお願いしたいですが、必要に応じ、除雪などの対応をします。



町営住宅 チロリン横川団地

**佐川** 町外からの定住者向け対策として、条件付無償分譲などの構想はどうか。

**町長** 現在のところ、低価格での分譲を基本に検討していますが、さらに検討を深めて参ります。

## イノシシ被害対策の支援は

### 今後も被害防止対策 支援を図って行きます

町長

鳥獣被害、特にイノシシ対策に対し、今後も交付金活用と予算継続し、支援強化すべきと思えます。

**佐川** 捕獲器具、箱罠等を各地区で利用出来るよう導入すべきと思うが。

**町長** 実施隊と調整しながら、導入、確保を図ります。

**佐川** 7割補助は電気柵以外にも該当するか。

**町長** 該当しますが、購入前に相談願います。

**佐川** 有資格者の狩猟登録等の説明会の開催は。

**町長** 猟友会と現在調整中です。



イノシシ捕獲用の箱罠



解体工事が進む町民第1体育館



みどりかわ えいいち  
緑川 栄一 議員

平成27年度の主要事業、町民第1体育館改築事業は、現体育館の解体工事にも発注され危険な状態も回避されつつあります。そこで、今後の事業計画について伺います。

**緑川** 全体事業計画は。  
**町長** 本年度に体育館建物建築設計を進め県から事業認定後、用地購入となります。工事発注につきましてはは次年度以降となる予定です。

平成27年に建築設計と  
用地購入を予定しています

町長

町民第1体育館改築の  
進捗状況は



用地購入予定地



内部解体状況

**緑川** 用地の購入は。  
**町長** 事業認定を受けて仮契約、議会の承認後となります。  
**緑川** 設計委託業務の発注は。  
**注は。**  
**町長** 7月に体育館の基  
本実施設計業務と敷地測量業務の委託を発注し進めようとしています。

**緑川** 全体事業完了及び供用時期は。  
**町長** 確定ではございませぬが、全体事業完了につきましては、平成29年度、供用開始時期につきましては、平成30年度になる見込みと考えております。



おかべ じゅんいち 岡部 淳一 議員

## 町道改良と新設の現況と 今後の取り組みは

要望等を踏まえ総合的に  
検討します

町長

念願だった国道整備が進み、県道改良にも新たな見通しが出てきました。そこで、町道に関する改良工事の進み具合、新たな考え方で対応すべき点などを勘案しています。

**岡部** 今年予定している改良工事の進捗と全体計画に対する完了率は。

**町長** 改良工事が5路線中、4路線、舗装工事が3路線中、2路線が発注済みであり完了率は今年

度末で18路線中、9路線が完了予定となっております。

**岡部** 今後特に重要視して改良したい路線は。また、優先順位的な対応は。

**町長** 現在着手している路線の完了を基本とし、優先順位は要望等を踏まえ総合的に検討します。

**岡部** 中山間東地区事業は、荷市場から大原橋間において進められますが、荷市場から大作線をして、

ふるどの荘への路線は竹貫辺川から田口地区へとつながる道路として考えているのか。また、ふるどのクリニック、ふるどの荘につながる竹貫中心部よりの道路改良、橋の拡幅は考えているのか。

については、現在のところ計画はありません。  
**岡部** 愛宕団地跡地の住宅地化を進めるにあたって生活道路として改善が必要になると思うが、改良工事は考えているか。  
**町長** 補正予算に委託料を計上していますので、改良したいと考えています。町道林の入り線に

## 放射能対策の現況と 今後の取り組みは

安心安全の為の助成のほか  
賠償請求を行っています

町長

これまで原発事故と町との関連について様々な角度から質問を繰り返してきましたが、原因となる第一原発の状況は全くと言っていいほど事態の改善はなく溶解した核燃料の所在はいまだつかぬ事さえ出来ないでいます。この状況のなかでわが町に係る次の点について伺

います。  
**岡部** 現在、原発事故との関係でとっている対策は何か。  
**町長** コメの全袋検査や農林産物等の簡易測定、水稲の放射性物質吸収抑制対策として塩化カリの配布、家畜の自給飼料支援としての草地更新実施助成をしています。

**岡部** 賠償請求の現状は。  
**町長** 請求できるものについては東京電力に請求しており、現在協議を進めています。  
**岡部** 食物検査機器の利用状況は。  
**町長** 2月16日から非破壊式簡易検査器を導入し、利便性の向上を図っています。4月から8月まで利用は35件の検査状況です。

ない状況とと思われます。  
**岡部** 町内農家に支援している塩化カリ、その散布手数料が賠償されているが知っているか。町としての対応は。  
**町長** 散布経費が、賠償の対象になっていないことは承知していませんでした。

## その他の質問

- ・ 体育館改築の考え方と体育館エリアの施設整備の方向性
- ・ 町おこしや活性化に寄与している鮫川沿いの桜の維持管理対策



米の全量全袋検査

# 追跡レポート

## その後 どうなった？

### テーマ 防災無線のデジタル化は？

Q 平成26年12月一般質問から

機材の老朽化に伴う防災無線のデジタル化は。

A 町長答弁

機器の老朽化から、デジタル化に移行する計画です。

その後の  
対応

平成27年度に調査、実施設計を行い、平成28年度に防災無線のデジタル化に向けた、改修工事に着手します。



デジタル化への改修が急がれる中継基地

# みんなのページ

No.24

今回紹介するのは、「**下松川旧三番組 熊野講豊楽保存会**」の皆さんです。

下松川旧三番組（才竜内、前木、馬場）集落に伝わる熊野神社の氏子による信仰行事で、今から350年ぐらい前から「熊野講 御日待」と呼称され伝承されてきました。その年の収穫を感謝し、五穀豊穡と村内安泰を熊野様に祈願して講中内の親睦を兼ねた集落の一大行事で、現在は、旧三番組 豊楽保存会「会長：矢吹昭さん」が、中心となって9月の第2日曜日に地区内にある湯殿山神社の祭礼にあわせて行われています。



「豊楽保存会」のみなさん

朝早くから夕方まで「餅つき」「干本杵」と称し、長さ6尺の檜の生木で作った杵で、臼を3個並べ本臼うら臼のほか、中央にこね水を入れた水臼を縄で結び、「ねりうた」「つきうた」にあわせ、搗くひとコネ取りをする人が息を合わせて搗きあげ、最後に本臼とうら臼の餅を交換して、搗きあがった餅を杵の先で持ち上げ神様に奉納します。



搗きあがった餅を杵で持ち上げて奉納

“町政を知るよい機会”  
議会を傍聴してみませんか

次回の  
定例会

12月 中旬

古殿町のホームページからご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ

ふるどの議会だより 第133号  
平成27年10月20日発行

14